

臨床検査部 初期研修プログラム 全体目標「専門職としてのスキルと高いコミュニケーション能力、地域医療に貢献する人材の育成を目指す」

令和元年11月1日作成

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
目 標		●社会人・職業人・医療職としての基本的態度について理解し実践できる ●病院の組織、運営、経営を理解する ●地域医療について理解する ●臨床検査部全体の特徴・概要について理解する ●ISO15189品質マネジメントシステムについて理解する		●配属した検査部門で、スタッフとコミュニケーションがとれる ●検査部門システム、電子カルテの基本的な操作ができる ●検査部門の、日勤業務の内容流れを知る		●助言を受けながら、日常業務ができる			●指導や助言を受けながら、日当直業務ができる ●自分で考えながら日常業務ができる				●1年を振り返り次年度の課題を見つけることができる
集合教育		●新規採用者研修 ●2ヶ月間で、各検査部門の業務概要について研修する ●ISO15189について研修する ●品質目標、指標 ●臨床検査に係わる法律を学ぶ	●接遇 ●内部監査 ●防災訓練 ●検査関連の最新情報について学ぶ	●医療倫理 ●コンプライアンス ●検査情報システム	●リスク管理 ●医療安全	●災害時リスクマネジメント	●危機管理	●マネジメントレビュー	●共通手順書の見直し ●標準作業手順書の見直し	●安全衛生と職場環境	●品質マネジメントシステムの業務プロセスについて	●リスクアセスメント	
職場内教育		●検査部概要、各検査部門業務内容 ●採血手技を研修		●各検査部部門へ配属 ●各検査部の日常業務内容を理解 ●日当直マニュアルを用いて、血液、凝固、生化学、免疫、一般、輸血、微生物、病理、生理機能検査を7ヶ月かけて指導							●到達度に応じて日当直開始		
指導方法		●入職時、検査部内オリエンテーションで、検査部概要、各検査部門業務内容について講義 ●各部門においてトレーナーが検査内容について説明 ●品質管理者からの講義		●各検査部門業務は、各標準作業手順書、マニュアルを基準とした各個人のスキルマップを作成。3月まで習得する技術を、スキルマップに沿って指導を実施する ●日当直業務は日当直マニュアルを基準としたスキルマップをもとに指導する									
評価			●個人目標の設定と期首面談						●期中面談(目標達成の進捗状況確認)			●期末面談(目標達成の評価)	
			●入職2ヶ月後、初期研修レポートの提出	●日常業務、並びに日当直業務は、スキルマップにより評価を実施する					●スキルマップ評価		●スキルマップ評価		●スキルマップ年度評価 ●業務遂行能力レビュー